

2023年3月31日(金)

2022年度 学校関係者評価シート

自己点検報告書に基づき、学校関係者評価委員会において、次のとおり評価した。

《評価委員》

北田委員(きただ治療院) 福末委員(古都治療院) 山内委員(やまうち治療院)
丸尾委員(堂阪医療器製作所) 山下委員(ハリリア京都)
小林委員(学校長) 岩崎委員(事務部長) 松尾委員(副校長補佐)

《評価区分》

5 極めて適切に行われている 4 適切に行われている 3 普通
2 適切にややかける 1 適切でない NA あてはまらない

評価項目	評価	
基準1 教育理念・目的・育成人材像		
1-1	理念・目的・育成人材像 仏眼の建学精神に則り適切に行われており、斯界のニーズに沿うものとなっている。 また、医療人を養育するにとどまらず、人間力の向上にも取り組んでいることも評価できる。	5
基準2 学校運営		
2-2	運営方針 法人評議委員会、理事会において承認された事業計画及び予算に基づいて運営され、尚且つ学校関係者評価委員に意見・評価を求めることは評価できる。	5
2-3	事業計画 事業計画書を定め、課題解決を図っているのは評価できる。 また、引き続き臨床実習協力者の増加に向けても取り組んでもらいたい。	5
2-4	運営組織 特に問題なし。	5
2-5	人事・給与制度 客観的かつ公平に実施されていると考える。	5
2-6	意思決定システム 評議委員会、理事会、学校運営会議、教務会議、教員連絡会議が行われ意思決定システムは構築されている。	4

2-7	情報システム	教員1名あたり、実際にはPC2台提供されており、オンライン授業等に充分対応できる状態は、大変評価に値する。	5
基準3 教育活動			
3-8	目標の設定	実技において、教育到達レベルを明確にするのは難しいと思えるが、その目標をシラバスに明示するのは大変有意義なことだと思える。 また、他校と比べても充実した授業内容となっており、年度毎に見直しもされ都度の社会ニーズにも沿うような努力がなされていると思われる。 さらに学校の独自性が感じられるよう「基礎+α」の部分についても今後検討されるとよいかと感じる。	5
3-9	教育方法・評価等	教育課程編成委員や学校関係者評価委員から意見聴取や外部講師の講演などは評価できる。今後は更に生徒の興味がある分野の授業を増やしたり、国家試験対策だけではなく魅力的で専門的な授業も求められるものと思われる。	4
3-10	成績評価・単位認定等	シラバス等により明確な成績基準を設け平等な評価をしている。 また、東洋療法学校協会学術大会においても継続して学生発表がなされていることも評価できる。	5
3-11	資格・免許の取得の指導体制	オンデマンド方式とハイブリット形式による国家試験対策も実施をされており、通常受けることの難しかった夜間部生徒も受講可となったこと、その成果として国家試験の合格率は向上したことは評価できる。国家試験に合格できなかった生徒へのフォローを引き続き、行っていただきたい。	5
3-12	教員・教員組織	多方面から教員及び講師の先生を招いての授業は評価できる。 教員の学会発表も行われ、その資質向上にも努められている。	5
基準4 学修成果			
4-13	就職率	実際の就業は卒後になり、把握は難しい側面があるが、求人公示や教員の方々の尽力により就職を促す体制はしっかりなされている。さらに就活サイトの周知を積極的に進め、就職率アップを目指していただきたい。	5
4-14	資格・免許の取得率	国家試験の合格率が向上していることは評価できる。 引き続き合格率100%を目指していただきたい。	4
4-15	卒業生の社会的評価	卒業した後も就業状況を調査し、社会で不安にならないようバックアップしている。 また、同窓会の卒後研修会など大変意義深いと考える。今後も魅力的な研修会を企画いただきたい。	4

基準 5 学生支援			
5-16	就職等進路	求人・就活支援サイトの導入など、支援は行われている。 卒後も就活支援サイトが利用できる点も評価できるが、就活支援サイトのさらなる周知が必要とも思われる。	4
5-17	中途退学への対応	奨学金制度は生徒のやる気につながるので評価できる。 また、スクールカウンセラーのサポートを持てるようになり、怠学防止にとってもよい取り組みであると評価できる。	4
5-18	学生相談	担任、教務部、事務部と連携を取りながら対応が行われていると思われる。	5
5-19	学生生活	高等教育無償化制度の対象校となっていること、成績優秀者には奨学金を受けられる制度となっていることなど、経済的支援にも積極的に取り組んでいる。	5
5-20	保護者との連携	保証人への成績・出席状況等を通知していることは、生徒の状況を早期に把握でき対応できるので望ましい。	5
5-21	卒業生・社会人	卒業生は有能な鍼灸マッサージ師として活躍されている。 また、卒後研修を積極的に進められていることも評価できる。 今後さらなる充実を望みたい。	4
基準 6 教育環境			
6-22	施設・設備等	衛生面に常に気をつけながら十分な施設什器を設置されている。 またオンライン授業等にも対応できる設備が構築されている。	5
6-23	学外実習、インターンシップ等	2022 年度は亀谷左京への工場見学が復活したが、コロナ禍の影響で実施ができていなかったその他の行事についても復活を期待する。 また、実際の仕事現場の見学などの、さらに卒業後のイメージを持ちやすくなるような学外実習などの導入も期待したい。	4
6-24	防災・安全管理	避難経路の周知が望まれる。また今後、東南海地震などの災害に対しても避難できるように引き続き検討いただきたい。	4
基準 7 学生の募集と受入れ			
7-25	学生募集活動は、 適正に行われているか	オープンキャンパスや高校等学校への働きかけ、ネットを活用するなど状況に応じて適正になされている。 オンラインオープンキャンパスで遠方の参加者が利用できている点も評価できる。 SNS を通じての広報活動もなされているとのことなので、さらなる充実を期待する。	4
7-26	入学選考	選考基準を明確にして、適切に運用されているので評価できる。	5
7-27	学納金	他校と比べても適切な算定額だと思われる。また、独自の奨学金制度が設定されていることも評価できる。	5
基準 8 財務			

8-28	財務基盤	適切な構築及び実施がされていると思われる。	5
8-29	予算・収支計画	適切な策定、管理が行われていると思われる。	5
8-30	監査	適切に監査が行われていると思われる。	5
8-31	財務情報の公開	財務情報の閲覧を希望する者に公開しているのは評価できる。	5
基準 9 法令等の遵守			
9-32	関係法令、設備基準等の遵守	関係法令を遵守し、適正な学校運営が行われていると思われる。	5
9-33	個人情報保護	個人情報に関して、平時施錠・データ等の学外への持ち出しを禁止するなど適正に管理されていると思われる。	5
9-34	学校評価	自己点検・評価委員会を設置しており、評価できる。	5
9-35	教育情報の公開	シラバス・成績評価方法などをホームページに公表されていて評価できる。	5
基準 10 社会貢献・地域貢献			
10-36	社会貢献・地域貢献	臨床実習の協力者として、地域の方々との交流が図られている。 さらに臨床実習協力者が増加するよう取り組んでもらいたい。	5
10-37	ボランティア活動	コロナ禍で実施は難しい状況であるが、平素は京都マラソンや専門学校球技大会で実施なされているおり、評価できる。	5